

4年 学校林探検隊 好奇心と探究心のスイッチ



【学校林探検隊 活動内容】 【キャリア教育への接続】

- ・ 自然への畏敬の念と生命の力強さの体感。
- ・ 体験から生まれる「なぜ？」という素朴な疑問からの課題発見。
- ・ 情報を収集し、問いの解決に向けて自然や人との関わりを通して探究する。

自然の力強さに触れ、
探究心の『スイッチ』が
入る瞬間だね。

長池ネイチャーセンターとの連携

- ・ 季節ごとに小林先生によるガイドで学校林を探検し、季節ごとに変わる学校林の姿を観察する。
- ・ 学校林に赤外線カメラを一定期間設置し、生息する動物について調べる。
→ アナグマ・タヌキ・アライグマ・ハクビシンなど



年間活動の
流れ①

年間活動の流れ②

- ・ 探検の際に教えてもらった自然遊びを通して、植物の特徴に気づく。
- ・ 由木西小のシンボルである「カタクリの花」や、環境省レッドリストで絶滅危惧種に指定されている「タマノカンアオイ」など、貴重な植物があることを知り、さらに調べ学習を通して知識を深める。



年間活動の流れ③

- ・ 年間を通した活動のまとめとして、4月にたてわり班活動で実施する学校林たんけんの時にガイドをする。
- ・ たてわり班で育てているさつまいもが獣害にあったため、4年生の学習の一環として対策を考え、ネットを設置した。



自然体験が「生きる力」に変わる時 キャリア教育の視点

体験そのものが
目的なんじゃない。
その中で培われる
『見えない力』こそが
本当の学びなんだ！

1 見付ける

2 育てる

3 収穫する

4 つなぐ

人間関係
形成能力

知る・
気づく

異学年での
達成感の共有
自己有用感

自己理解
自己管理
能力

継続的な
関わり
責任・伝統

課題対応
能力

疑問からの
課題発見

由木西小の
全教育活動



未来を拓く「生きる力」へ

自己有用感
リーダーシップ

思いやり

豊かな自然体験と
振り返りで、
子どもたちは
自分の足で
未来を歩む
「生きる力」を
獲得します。



未来を拓く、由木西の豊かな土壌

「心ゆたかに たくましい子」の育成

由木西レンジャーと総合的な学習の時間における
自然との関わり、仲間との関わりが、
子どもたちの「好き」の根を深く張り、
社会で生き抜く強脈な幹を育てます。

予測困難な社会においても、
自分らしく未来を切り拓く力を、
地域と共に育み続けます。

みんなの『好き』が詰まった
由木西の土壌から、未来を変える
大きな木が育ちますように！

